

網張ビジターセンター ニュースレター



Vol.98
2021.9



amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori * 網張の森の生き物たち * amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori

無傷で事切れていた“ジムグリ”

猛暑の日々が遠い記憶となり、軽やかなカンタンやココロギなどの音が心地よく聞こえ始めたある日の朝、林間キャンプ場入口の地面でじっとしていたジムグリに出会いました。和名の“地潜”は地中によく潜る習性から名付けられた通り、アオダイショウやシマヘビほど頻繁に見かける機会がなく、出会えた時は嬉しさ倍増でした。近づいてみましたが動く気配はありません。「10度位の気温だと動けなくなるのかな…」変温動物とは言え、ぴくりとも動かないのは気になります。拾った小枝で胴体や頭部に触れてみても全く反応せず。どうやら既に事切れていたようです。手で持ち上げてみると体はとても柔らかく、傷らしきものも見当たりません。全体が艶々して美しいくらいです。せっかくなので胴体と尾の境目にあり排泄や産卵器官でもある“総排泄腔”を少しだけ広げて見てみることに。境目の奥は牡丹海老のお寿司のように白くプリッとしていて新鮮そのもの。真ん中がすぼまり、哺乳類の肛門のようです。身の危険を感じるとそこから独特の匂いを放つことも。ヘビには手足がないなど多少外見は異なりますが、口から食べ、内臓で消化し、肛門から排泄する…。「人間の体の構造と大差ないじゃない」妙に腑に落ちた出会いとなりました。

What is “Jimuguri”? 「潜るのに適した体形のヘビ」

ナミヘビ科
全長：約70～100cm
分布：北海道～九州

無毒で昼行性。日本固有種。主に森林に生息し、低温を好む傾向にある。ネズミやモグラなどを捕食。背面に黒褐色の斑点が散在するが、全く斑点が見られないものを「アカジムグリ」と呼ぶこともある。上顎は下顎にかぶさるようであり、地中に潜りやすくなっている。

(同定協力：伊達 功氏)
(参考図書：「日本の両性爬虫類」他)

amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori amiharinomori

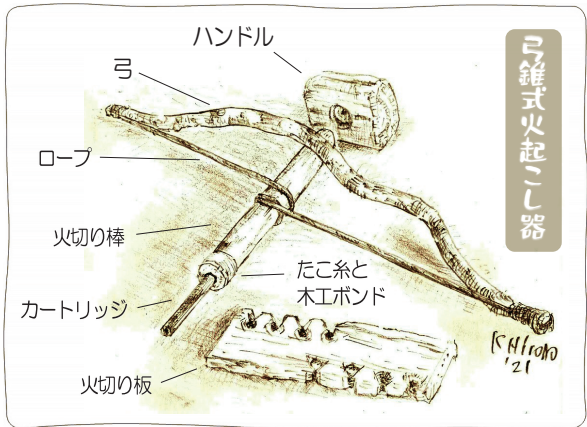
『ブッシュクラフト 大人の野遊びマニュアル』より

川口 拓
私がはじめてマツチもライターも使わずに火を起こしたのは十数年も前のことだが、そのときのことをいまでもはっきりと覚えている。きつと、この弓錐式の着火は誰にとってもすばらしい経験となるだろう。

倒木を読む

第9話

回せ！弓錐式火起こし器



弓錐式火起こし器

機が熟して火起こしに挑戦する事にした。この連載やキャンプを通して、木や火との距離がやや縮まったためだろうか。材料の調達には例によって網張で手に入るものを優先した。弓となる木は固くしならないものが良いらしい。アオダモがあれば最高だが、都合よく倒木や枯れ木が見つからなかったため、代わりにハウチワカエデを選択した。カートリッジは火切り棒と擦れ合い火種を生む重要な部分だ。リサーチによると中空の枝が良いらしい。網張独自の工夫として、夏に伐採されて固く乾燥したオオイタドリの茎を採用してみる事にした。



結果的に2度、点火に成功した。こうして振り返ってみると順調そうだが、そこに至るまでは試行錯誤を繰り返した。些末な事に追われる日常で、縄文時代から脈々と流れる太い時間軸の一端にかろうじて手が届いた気がした。 参考図書：『焚火大全』関根 秀樹氏ほか

【使用した材料】 スギ (ハンドル・火切り棒・火切り板)、ハウチワカエデ (弓)、オオイタドリ (カートリッジ)
【使用した道具】 鋸、鉋、ナイフ等 (佐々木 和司氏提供)

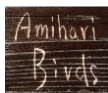


Q. 発火具だけでは火は起こせませんか？ 火口や着火剤を教えてください。

A. 火種を作る事ができたらすぐに燃えやすい火口に着火させる必要があります。手に入りやすいものでは麻ひもやティッシュがお勧めです。これにチャークロス (炭布) やダケカンバの皮等、火持ちがするものを加えます。これらに着火できても、まだ安心ではありません。煙ばかりが上がって、風を送り続けるもむなく消えてしまう場合があります。天候や湿度によっても発火する条件が変わってくるので、いずれ教科書通りに事は運びません。最も重要な火口の一つは、あきらめない心です。



点火に成功、わっしょい！



アミハリ・バード Vol. 4 1

夕刻、帰宅しようとしたスタッフの車になぜかコサメビタキがとまっていた。ケガをした様子もなく、幼鳥のようにも見受けられません。撮影しようとカメラを出そうとした所、見透かしたように飛んでいってしまいました。落ち着いたな絞肌色と、大きな目を際立たせる白いアイラインが印象的でした。はるか遠いユーラシア大陸南部やインドネシア・フィリピン等の越冬地を目指す途中に、ミズキやキハダの実が食べごろの網張に立ち寄り、英気を養っていたのかもしれませんが。

コサメビタキ

科名：ヒタキ科
全長：約13cm
生態：夏鳥
分布：九州以北

鳴き声

ツチツチ…クチュクチュ…
ピリギリリー、
ツイー



K. Hirono '21



「三ツ石の紅葉」

紅葉時期の網張には行ったことがない。ちょっと行ってみようかなとやって来たところ、今年の三ツ石は数年に一度の見事な紅葉と評判になっていた。

これは登らねばと勇んだのに、翌日から雨、雨、雨。停滞三日、そして今日は帰る日という朝、晴れ渡った青空。このまま帰るわけにいかない、というわけでリフトに乗る。

けっこう速足、ここでのんびりしたら気持ちよさそう、というポイントも尻目に歩き続ける。三ツ石湿原からの登り、次に苦しくなったら戻るぞと思った最後の一息で視界が開けた。岩手山を眼前に、烏帽子、秋田駒、八幡平と東北の山らしいおおらかなうねりが鮮やかに広がっていました。何分か前の戻ろうかも忘れ、八幡平まで歩けるのではくらいの高揚感になり、辺り一帯を歩き回りました。

三ツ石ってきれいな山、と以前誰かに言われたのを思い出した。花の季節もいいだろうな、でも熊が多いと言っていたなあ。

確かにいい山、また来てみたいと心を残しながら下りはじめたのでした。犬倉分岐から大松倉までの水たまり、泥濘、歩くところ無い状態（記憶にある限りトップクラスの泥んこ）も含めて、いい山歩きでした。

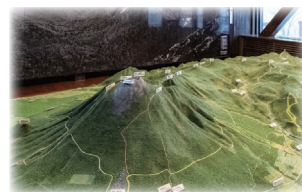
千葉県松戸市 柏木 満智子 氏

◆◆◆ 網張ビジターセンターリニューアルのお知らせ vol. 4 ◆◆◆

天高く、我肥ゆる秋… あれ？馬、どこ行った？盛岡管理官事務所の工藤です。

今回ご紹介するのは一際目立つ展示、岩手山の7800分の1の模型です。この模型は実際より高さを強調しているそうです。普段は見上げている山を模型では見下ろす格好になりますので、高さを強調した方が実際に目で見ただけの感覚と近づけることができるのだそうです。なるほどというか、へえーというか、目からウロコでした。

地形だけではなく、登山道や周辺道路もわかるようになっていますので、ご自身が登ったことのあるコースを目でたどるのも面白いですし、これから目指すコースの起伏を見て予習しておくのもオススメです。是非皆さんもキャッキャしにいらしてください。国立公園でお会いしましょう。



(岩手山の地形模型)

実施いたしました行事は、新型コロナウイルス感染症対策に重点をおきながら開催いたしました。今後開催予定の行事につきましても、引き続き対策を講じながら行ってまいります。

一 国立公園で楽しむ親子の自然体験 -

7月17日(土)

「よるの森をのぞいてみよう！
コウモリ調査体験と
昆虫ライトトラップ」



夜行性昆虫やコウモリのお話を聞いてから夜の森へ。バッドティクターを使いコウモリの出す超音波を聞いたたり、灯火に集まる昆虫を観察しました。「コウモリや昆虫について説明を聞いて少し詳しくなった」「貴重なコウモリのはく製を見ることができた」「光に集まるたくさんの虫を見たり触ったりできて嬉しかった」参加者感想より。総勢 30 名参加

一 国立公園で楽しむ親子の自然体験 -

8月8日(日)

「夏休み！親子で楽しむ
だて先生の昆虫観察&
クラフト体験」



匂い、手触り、鳴き声、きれいな模様や色、そして味！五感を使って網張の森やグレンデに棲む昆虫を観察しました。参加した子どもたちみんなが「だて先生と昆虫を捕まえたり見たりできて楽しかった」との感想。午後は森で集めた自然素材を使って昆虫をモチーフにクラフトを作りました。親子の合作もあり、世界に1つの力作ができました。総勢 24 名参加

8月1日(日)

岩手県市町村職員健康福利機構

夏休み親子プラン
「犬倉山親子登山」



霧や雨のなか、最年少6歳の参加者も元気に踏破しました。お姉さんが小さな妹の手を引いたり声をかけたりと微笑ましい姿も見られました。「初めての登山が雨で思い出に残ると思う」参加者感想より。総勢 38 名参加

「夏休み特別企画」へのご参加
ありがとうございました！



今年は昆虫写真展に加え、昆虫スケッチや昆虫クイズも行いました。スケッチは標本を見ながら特徴をとらえた作品が並びました。

9/7「雫石中学校職業学習」参加



雫石中学校の体育館にて、2年生の職業学習が行われ、網張ビジターセンターも、職業人として、働くことについて、ビジターセンターの仕事内容や雫石町に国立公園があることなどを中学生と交流しながら紹介してきました。(写真提供：雫石町政策推進課)

好評です！ミニクラフト体験



ビジターセンターでは、開館時間中どなたでもクラフト体験をお楽しみいただけます。体験料 100 円

インフォメーション

10/9『鞍掛山麓ハイキング&スケッチ』

9:30~14:30 たきざわ自然情報センター集合
講師:工藤 義之 氏

(水曜デッサン会、いわて水彩画会)

定員:10名 ※要事前予約

参加料:大人500円 小学生300円

- 国立公園で楽しむ親子の自然体験 -

10/17『おがわりしたくなる！
炭火炊飯体験』



※緊急事態宣言に伴う行事延期につき日程変更

10:00~14:00 網張ビジターセンター集合

講師:坂内 信彦 氏(炭焼き人)

定員:親子5組10名 ※要事前予約

参加料:大人500円 中学生以下300円



11/7 - 森のクラフト体験 -

『クリスマス飾りを作ろう!』

9:30~11:30 網張ビジターセンター集合

定員:10名 ※要事前予約

参加料:一人500円(材料費込)

10/23 ミニプラス「キノコ観察会」

10:00~11:30 網張ビジターセンター集合

講師:原 勝雄 氏(岩手菌類研究同好会)

定員:7名 ※要事前予約

参加料:一人400円

●● 現在開催中の企画展 ●●

- 鳥撮りとりおの写真展 -

「鳥撮りとりお in Amihari 4」

期間:9月5日(日)~11月28日(日)



「鳥撮りとりお」のメンバーは
盛岡市在住の 上川 仁 氏

佐藤 仁 氏

渡辺 寛志 氏

(写真左から
「ウグイス」
「エナガ」
「キジ」)

「野鳥が幸せに暮らせる環境は人間にとっても幸せです。標本的な写真よりも生き生きとした野鳥の姿をお楽しみください!」~出展者のことばより~

モモンガのつばやき

まだ紅葉が始まったばかりの三ツ石山へ行ってきました。草紅葉の奥で秋の虫が鳴き、終盤となった花々にはハチやハエの仲間がボツボツと点在。人は年齢を重ねると時の移ろいが早く感じられるといいますが、寿命が半年にも満たない生物は今この季節をどう感じているのでしょうか?

「駆け抜けてきたけど、今はゆったり過ごしてます」そっと風がささやく秋です。(K.H)



十和田八幡平国立公園 網張ビジターセンター

来館者数 ◆ 7月 1,460人 ◆ 8月 659人

朝9時のビジターセンター平均気温 ◆ 7月 16.4℃ ◆ 8月 16.5℃

発行 網張ビジターセンター運営協議会

〒020-0585 岩手県岩手郡雫石町長山小松倉 1-2 (網張温泉)

TEL 019-693-3777 FAX 019-693-3778

URL <http://amihari17.ec-net.jp>

E-mail amihari@vanilla.ocn.ne.jp

開館 夏期(4月から10月末まで) 休館日なし 9時~17時